

報告事項 イ

平成23年度地方教育行政功労者表彰被表彰者について

平成23年度地方教育行政功労者表彰被表彰者について、別紙のとおり報告します。

平成23年10月24日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

平成23年度地方教育行政功労者表彰被表彰者について

教育総務課

1 表彰趣旨

地方教育行政において、その功労が特に顕著な教育委員会の委員に対して、その功に報いるとともに、地方教育行政の発展に資するため、文部科学大臣が表彰するもの。

2 被表彰者、表彰式

<被表彰者> 中川俊隆（63歳）鳥取市教育委員会教育長 伊藤 浩（72歳）伯耆町教育委員会委員長	<表彰式> 日時 10月14日（金）12時20分から 場所 東京都千代田区「文部科学省講堂」
--	--

3 被表彰者の主な功績

中川俊隆（なかがわ としたか）	
略歴	鳥取市教育委員会教育長（平成14年6月から現在）
主な功績	<p>学校教育 平成19年4月1日に学校不適応児童・生徒への対応として鳥取市教育センターを新設し、教育相談、教育支援、教職員研修を充実させた。平成19年度には学力向上推進委員会からの提言を受けて「学力向上のための9つのアピール」を策定し、平成21年3月に鳥取市教育ビジョンを策定するなど、各種施策の推進に尽力した。また、児童・生徒の実態、保護者の願いや期待、地域の特性を踏まえ「自立と創造の学校づくり」推進事業を推進した。</p> <p>社会教育 平成20年度から地区公民館を生涯学習に加え、地域コミュニティ活動の拠点施設として位置づけ、さまざまな機能を充実することにより、地域力の向上を図るとともに、「市民が主役の協働のまちづくり」が着実に前進する取組を積極的に推進した。</p> <p>文化振興 地下の弥生博物館と称される「青谷上寺地遺跡」（平成20年3月国史跡指定）や、近代水道施設の歴史を知るうえで重要な「旧美歎水源地施設」（平成19年6月国重要文化財指定）など、様々な文化財の保存・活用に尽力した。</p> <p>教育行政 鳥取市教育委員会教育長として9年の実績があり、平成21年5月には全国都市教育長協議会会長に就任し、平成23年度からは公立義務教育諸学校の学校規模及び教職員配置の適正化に関する検討会議の委員として教育行政の推進に貢献している。</p>
伊藤浩（いとう ひろし）	
略歴	旧溝口町教育委員会委員（平成11年10月から平成16年12月） 伯耆町教育委員会委員（平成17年1月から現在） 伯耆町教育委員会委員長（平成21年2月から現在）
主な功績	<p>学校教育 教育委員、また教育委員長として、教育長とともに児童生徒が安全・安心に学べる環境作りに尽力し、学校施設の耐震化を推進している。また、学校地域支援本部を設置し、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整え、学校教育の充実、地域の教育力の向上を目指すほか、とっとり学力向上プロジェクトにより、子ども達の学力向上に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>社会教育 生涯学習の重要性を認識し、溝口公民館の改修を行い、幼児から高齢者まで、誰もが学べる環境を整備し、併せて図書スペースの充実を図り、幼児期からの本の読み聞かせを通して文字に親しむことの大切さを啓発した。合併後においても委員長として、溝口公民館の増築、岸本公民館の改修及び岸本図書館の新設に尽力し、学習の場の拡大を図った。</p> <p>文化振興 伯耆町文化振興会の活動を支援し、町民による芸術作品の発表の場を設けて文化活動の活性化に寄与した。平成12年の鳥取西部地震の折には、廃棄の危機に瀕していた伝統、文化品を収集し、歴史的価値のある品々を次世代に伝えていくため維持管理、保存に尽力した。</p> <p>教育行政 伯耆町教育委員会委員としての9年間の実績を活かし、平成21年2月から委員長として町の教育行政全般に関して推進の責任者となっている。その長としての統率力及び決断力は、高く評価されている。</p>